

## 平成26年度第2回愛媛県公立大学法人評価委員会の会議結果

- 1 会議の名称 平成26年度第2回愛媛県公立大学法人評価委員会
- 2 開催日時 平成26年8月22日（金曜日） 18時30分から19時30分まで
- 3 開催場所 愛媛県庁第二別館5階 第3会議室
- 4 出席者 委員4名、事務局4名、大学7名

### 5 審議事項（議事）

#### ○業務実績評価書及び委員会意見の決定

- ・平成25年度業務実績評価書（案）について
- ・平成25年度財務諸表及び利益処分（案）に対する委員会の意見について

### 6 審議の内容（全部公開）

前回のヒアリング結果を踏まえ、公立大学法人愛媛県立医療技術大学の平成25年度における業務実績評価を決定した。また、同法人の平成25年度財務諸表及び利益処分（案）について知事が承認するにあたり、知事に提出する委員会の意見を決定した。

(1) 平成25年度業務実績評価は、全体として「順調な進捗状況にある」と評価。

#### 【主な内容】

- ・大学院の設置（H26.4開設）について、大きな進展があり評価。
- ・助産学専攻科（H24.4開設）、入学定員の増（H25.4増員）についても順調。
- ・県内就職率向上について、引き続き取組みを求める。（H25実績48.9%、目標50%）
- ・教員の欠員（H26.4現在2名）についても、引き続き適切な教員配置への努力を求める。

(2) 平成25年度決算全体（財務諸表）の承認については、異議なし

平成25年度決算において生じた剰余金約5,800万円については、うち約2,500万円を「目的積立金（＝経営努力認定）」として承認するのが適当。

(質疑等)

○目的積立金の使途（予定）について、教員研究費を平成16年度当時の水準にまで回復させたいということであるが、これは全国的にはどの程度のレベルか。

⇒ 同規模の公立大学の平均を勘案して設定している。

○利益剰余金について、通常の企業会計であれば毎年積み上がっていくのではなく、増減するのが普通。教育の充実等の目的であれば、予算は有効かつ積極的に活用すべき。また、これまでに承認した「目的積立金」が多額となっているので、施設設備の老朽化に伴う修繕など真に必要なものに充当するなど、中期目標期間中の積極活用を図るべき。

⇒ 予算については、今後も効率化及び適正執行に努めることとしているが、目的積立金については施設設備の改修などに有効活用することとしたい。

〔事務局〕

保健福祉部管理局保健福祉課  
調整管理係

TEL 089-912-2381

FAX 089-921-8004